

年 月 日/

学校 年 組 番 なまえ

2024年6月26日付

## ペットボトルでアート

## 日立 環境問題理解深める

環境問題について子どもたちに知ってもらおうと、イベント「地球に感謝するDAY」が22日、日立市東多賀町の河原子交流センターなどで開かれた。環境活動家の谷口貴久さんが講演し「気候変動で失うものは自然ではなく平和」と対策の遅れに警鐘を鳴らしたほか、海岸清掃やペットボトルごみアートのワークショップも行われ、参加した子どもらが気候変動や環境問題への理解を深めた。

イベントは同市のボランティア支援団体「ワイエス

フォワード」（庄司裕紀恵代表）が主催。3部構成で実施し、地元の子どもら延べ約140人が参加した。第1部では同市河原子町の河原子海岸で清掃を実施し、ごみを集めた。

第2部では、谷口さんが講演し、地球温暖化の影響として、南極や北極の氷の減少、豪雨災害の激化、山林火災の頻発、干ばつによる作物不足などを映像や写真を使いながら紹介。大規模災害により世界的に気候難民も増えていることも指摘し、「水や食料の供給が

ペットボトルごみでアートを制作するTOMOさん（左）＝日立市東多賀町



何かが変わる」と個人による対策を促した。

最後に、ペットボトルアーティストのTOMOさんを招き、ペットボトルを素材とした花びら作りに挑戦。TOMOさんの指導を受けながら、カッターで切ったペットボトルをロウソクであぶり、花びらの形を再現。ごみからアートを生

不安定になれば、世界中で紛争が心配される」と危機感を募らせた。

その上で、谷口さんは「無関心でいられても無関係ではいけない」と力説。聴衆に「自分で考え、行動する自立が必要。自分が動けば

講演を聞いた高沢えみさん(43)は「環境問題について知ることができた。生活の中で、自分のできることからやっていきたい」と決意を新たにしました。

(高田尚輝)

## 【問1】 イベント「地球に感謝するDAY」の目的は？

環境問題について子どもたちに知ってもらうため

## 【問2】 イベントで実際に行われた活動は？

海岸清掃やペットボトルごみアートのワークショップ

## 【問3】 谷口さんが講演で、みんなそれぞれに、うったえたことは？

「自分で考え、行動する自立が必要。自分が動けば何かが変わる」